令和元年度 大阪府生徒研究発表会～大阪サイエンスデイ～

『オーラルセッション発表レジュメ(原稿)作成の手引き』

　研究発表会は、日頃から各々の高校が取り組んでいる科学・技術に対する研究成果について、一堂に会したポスターセッション（パネル発表）やオーラルセッション（口頭発表）を通して、活発な議論を行いつつ、互いに切磋琢磨して将来を担う若手研究者の育成および飛躍の場として実施します。

予稿集の原稿は、研究課題に対する目的、実験・測定方法、実験結果、議論・考察および結論等を参加者に簡明に伝えて研究内容を理解させて議論に参加してもらう内容にする必要があります。

以下の［原稿作成上の注意］にしたがって、作成してください。

［原稿作成上の注意］

１．留意事項

　投稿者は、参加者に興味をもって議論に参加してもらえるように、次の点に留意して原稿を作成してください。

(1) 関連する分野の現状をまとめ、研究課題の目的ならびに位置付けを明らかにし、発表内容の成果が同じ研究分野および分野以外の参加者に対しても、理解できるようにする。

特に、まえがき（あるいは緒論）では、このことを十分に留意して作成すること。

(2) 原稿の内容は、論理的に記述して飛躍が無いようにする。また、根拠のない事柄はなるべく避けて、十分に検討・議論した一般性のある事項を書くこと。

(3) 本質的に関係の無い内容は書かずに、明確に表現する。また、誤字や脱字がないことを、作成後に必ず確認すること。

(4) 審査員による事前審査を行うので、別途記入例にしたがい作成すること。尚、作成にあたっては、各校にて内容を確認し、責任を持って提出すること。

２．原稿枚数および言語

　指定された予稿集テンプレート用紙（別紙様式３）を用いて、上記の留意事項および用紙内の書式にしたがって原稿を作成してください。

(1) 原稿枚数は、必ず２枚にまとめる（厳守のこと）。

(2) 言語は、日本語または英語に限る。ただし、Abstractは英語のみとする。

３．体裁について

(1) ファイル形式：.doc形式および.docx形式

(2) 分量　　　　：Ａ４サイズ・２枚、モノクロ（別紙様式３）

(3) ページ設定　：余白：上22mm、下25mm、左右20mm

　　　　　　　　　２段組み( 各段は、23文字×38行、ＭＳ明朝10ポイント)

(4) 英数字　　　：半角

(5) その他　　　：適宜、写真・グラフ等を掲載

４．必須項目（記載場所・内容）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 記載場所 | 内容 | 解説 |
| １行目 | 題目、発表テーマ | ＭＳ明朝、16ポイント、太字、中央揃え（別紙様式２と整合していること） |
| ２～３行目 | 発表者名前 | ＭＳ明朝11ポイント、姓と名の間は半角スペース複数の場合は、氏名間を全角スペースとして、中央揃えとして横書きし、最大２行以内とします。（別紙様式２と整合していること） |
| ３～４行目 | 所属学校名 | ＭＳ明朝11ポイント |
| ６行目以降 | Abstract抄録 | 見出し：ＭＳゴシック10ポイント本 文：ＭＳ明朝10ポイント、52文字×最大4行以内。(英文表記の場合は、Arial、10ポイント)　　研究の重要な内容を簡潔かつ正確に記述します。 |
| 以下、２段組み( 各段は、23文字×38行) |
|  | 本文 | 研究の背景と目的 | 研究の背景について記載するとともに、研究の目的を記載します。 |
| 方法 | 研究手順や方法の概要を、特徴的な点に焦点をあてて記載します。 |
| 結果 | 研究結果を、データ等をそえて記載します。 |
| 考察 | 結果に対する科学的考えを記載します。 |
| 結論 | 目的、方法、結果・考察との整合性に配慮し、結論を記載します。必要に応じて今後の課題や方向性を記載します。 |
| 参考文献 | 研究中に参考にした、書籍、論文、情報等の主要なものを記載します。 |
| その他 | この発表テーマが学校内の先行研究に基づく場合は、その旨記載してください。 |

５．原稿の提出

作成した原稿はPDFに変換して、募集要領(別紙)に記載の提出先に、提出期限厳守のもと提出する

こと。提出されたPDF原稿をもとに予稿集を作成するので、提出前に誤字・脱字等確認すること。

以上